

専門教育科目	工学日本語Ⅱ	工学分野における日本語での表現ならびに会話、作文を通じて、基本的なコミュニケーションを可能にする日本語を学ぶ。簡単な漢字交じりの文章の読み書きを習得し、バイオテクノロジー分野の基本的な日本語に慣れ、学術論文の理解を目指す。	
	ESP バイオテクノロジーA	社会・産業界が直面する諸問題を理解し、その解決に向けてバイオテクノロジー分野がなしうる貢献を理解するために、先端バイオテクノロジーに関する特定の研究トピックスについて紹介し、ディスカッションを通じて研究のデザイン力を修得する。	高度国際性涵養教育科目として履修可
	ESP バイオテクノロジーB	社会・産業界が直面する諸問題を理解し、その解決に向けてバイオテクノロジー分野がなしうる貢献を明確にするために、先端バイオテクノロジーに関する特定の研究トピックスについて紹介し、ディスカッションを通じて研究のデザイン力を修得する。	高度国際性涵養教育科目として履修可
	ESP先端化学A	社会が直面する地球環境・資源エネルギー問題の根本的解決に向け、バイオテクノロジーについて幅広い視野を持ち国際的に活躍できる人材を育成するために、バイオテクノロジーに関連する先端化学・科学の最新のトピックスについて学習するとともに、国際的な展開力を修得する。	高度国際性涵養教育科目として履修可
	ESP先端化学B	先端バイオテクノロジーに関するe-Learningコンテンツの講義・演習を行う。地球環境・資源エネルギー問題の根本的解決に向け、バイオテクノロジーについて幅広い視野から国際的に活躍できる人材を育成するために、バイオテクノロジーに関連する先端化学・科学の最新のトピックスについて学習するとともに、国際的な展開力を修得する。	高度国際性涵養教育科目として履修可
	海外フィールドスタディS	学生が国内外でフィールドスタディに参加し、実習を行うことにより、各学生が海外において自らの専門性を発揮するための基礎的な力を養うことを目的とする。準備から事後学習までの学習プロセスを学生が主体的にデザインし実行することを支援するとともに、調整力、コミュニケーション力、柔軟性といった、大学院終了後にプロフェッショナルとして自主的に活動し、他者や他機関と協働するために必要な資質を養う。	高度国際性涵養教育科目として履修可
	生命先端工学特論Ⅱ	英語による先端バイオテクノロジー講義を行う。E-Learningにより実施する。特に、微生物学や生物の産業応用等に関わる講義を受講し、内容を理解するとともに、ポイントとなる英語表現を書き下す能力等を養う。	
高度国際性涵養教育科目	工学英語Ⅰ	大学院で習得する学習・研究能力を国際的な場に発展させるために、英語による理解・表現の基礎能力を養成することを目的とした授業を行う。具体的には、マルチメディア型学習システムを用いた技術英語の修得と、CLE（授業支援システム）による課題提出を通じた科学技術論文作成の基礎を学習する。	
	工学英語Ⅱ	大学院で習得する学習・研究能力を国際的な場に発展させるために、英語による理解・表現の応用能力を養成することを目的とした授業を行う。具体的には、専門分野の論文の読解や作成、研究成果に関するポスタープレゼンテーションやディスカッションなどを含む。国際会議等での英語によるコミュニケーション能力の基礎を養成する事を目的とする。	
	OJE方式による演習Ⅰ	ビジネスエンジニアリング分野に関する研究・技術に関する専門的な知識の習得を図るため、課題の設定から問題解決の提案までを少人数グループで実施する。プレゼンテーション能力や、研究・プロジェクトの立案から問題解決まで自己完結できる広い視野を備えた能力を養成する。	

	OJE方式による演習Ⅱ	ビジネスエンジニアリング分野に関する研究・技術に関する専門的な知識の習得を図るため、課題の設定から問題解決の提案までを少人数グループで実施する。プレゼンテーション能力や、研究・プロジェクトの立案から問題解決まで自己完結できる広い視野を備えた能力を養成する。	
高度国際性涵養教育科目	インターンシップ	企業での仕事の進め方を理解するには、講義以外に可能な限り長期間のインターンシップが望まれる。そのため、大学院修了までの2年間に1ヶ月程度のインターンシップを2回実施する。 インターンシップでは、単なる実技の習得ではなく、企業での取り組み方を学ばせるように、カリキュラムを作成する。また、企業と学生のマッチングを図るために、連携教員によるガイダンスを実施すると共に終了後、学内でインターンシップ報告会を開催し、習熟度を評価し、本人の次のインターンシップに反映させる。	
	ビジネス日本語Ⅰ	受講生には、効果的な「ビジネスに必要な日本語」の習得を目指し、日本語教育授業と共に取り組むほか、大学の長期休暇を利用し、我が国のものづくり企業での「仕事の進め方」、「企業教育方法」や「社風」など、日本型ビジネスを理解するために、企業独自の文化に関する特別講義科目を開講する。	
	ビジネス日本語Ⅱ	受講生には、効果的な「ビジネスに必要な日本語」の習得を目指し、日本語教育授業と共に取り組むほか、大学の長期休暇を利用し、我が国のものづくり企業での「仕事の進め方」、「企業教育方法」や「社風」など、日本型ビジネスを理解するために、企業独自の文化に関する特別講義科目を開講する。	
高度教養教育科目	生命先端工学特論Ⅰ	産業界等から講師による先端バイオテクノロジーに係わる集中講義を行う。特に、バイオテクノロジーの産業への応用、生物由来材料等の高度加工プロセス、食品の機能性と生物由来工業原料生産、生物由来医薬品の開発等について学ぶ。	
	先端バイオテクノロジー特論Ⅰ	我が国および世界における生物工学分野の発展を踏まえ、社会・産業界が直面する諸問題を理解し、その解決に向けて自ら得た知識を活用する能力をつけるために、最先端のバイオテクノロジーを紹介し、その原理と応用についてのディスカッションを通じて理解を深める。	
	先端バイオテクノロジー特論Ⅱ	我が国および世界における社会・産業界が直面する諸問題を理解し、その解決に向けて生物工学分野がなす貢献を明確にするために、最先端のバイオテクノロジーを紹介し、その原理と応用についてのディスカッションを通じて理解を深める。	

授 業 科 目 の 概 要			
(工学研究科 生物工学専攻 博士後期課程)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門 教育 科目	生物機能工学特論Ⅰ	バイオテクノロジーの基礎を支える生体レベルから細胞分子レベルにわたる微生物学、分子生物学、生化学など、基礎生命科学分野における最近のトピックスを選んで解説し、その工学的応用について考える。また、関連する解析技術の進歩などについても述べる。	
	生物機能工学特論Ⅱ	バイオテクノロジーの基礎を支える生体レベルから細胞分子レベルにわたる細胞生理学あるいは生物有機化学など、基礎生命科学分野における最近のトピックスを選んで解説し、その工学的応用について考える。また、関連する解析技術の進歩などについても述べる。	
	生命反応工学特論Ⅰ	有用物質生産等のものでつくりのバイオテクノロジーおよびそのバイオプロセスについて論じるとともに、この講義を通して、生物工学および生物プロセス分野の工学的体系化ならびに産業化について学ぶ。	
	生命反応工学特論Ⅱ	有用物質生産等の基礎研究から生物生産プロセスへの応用ならびに、その産業化における科学的・工学的問題点と解決法について論じる。この講義を通して、生物工学分野の産業応用における工学的体系化について学ぶ。	
	生物工学ゼミナールⅢ	応用生物工学分野における細胞工学など最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、独力で研究を行う能力を養う。	
	生物工学ゼミナールⅣ	応用生物工学分野における生物資源工学など最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、独力で研究を行う能力を養う。	
	生物工学ゼミナールⅤ	応用生物工学分野における合成生物工学など最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、独力で研究を行う能力を養う。	
	生物工学ゼミナールⅥ	応用生物工学分野におけるゲノム機能工学など最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、独力で研究を行う能力を養う。	
	生物工学ゼミナールⅦ	応用生物工学分野における高分子バイオテクノロジーなど最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、独力で研究を行う能力を養う。	
	生物工学ゼミナールⅧ	応用生物工学分野における生命環境システム工学など最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、独力で研究を行う能力を養う。	
	海外フィールドスタ ディS	学生が国内外でフィールドスタディに参加し、実習を行うことにより、各学生が海外において自らの専門性を発揮するための基礎的な力を養うことを目的とする。 準備から事後学習までの学習プロセスを学生が主体的にデザインし実行することを支援するとともに、調整力、コミュニケーション力、柔軟性といった、大学院終了後にプロフェッショナルとして自主的に活動し、他者や他機関と協働するために必要な資質を養う。	

専門教育科目	産業技術論特論	学内の企業の共同研究講座／協働研究所や官との産学官組織連携に基づき、当該産業分野の全体像を見渡し、技術の深掘りや技術融合による事業創出を俯瞰し、高度な出口戦略を構築し得る力の修得を図る。 新規分野（研究・新事業などオープンイノベーションの種）の事業化戦略等をグループ演習等により検討する。	
	インターンシップ・オン・キャンパス特論	学内の企業の共同研究講座／協働研究所や官との産学官組織連携に基づき、企業側提示もしくは大学側提示のテーマを対象に、通年で長期の産学共同研究活動を実施する。大学側指導教員より学術的視点の教育指導を、産業界側指導教員により事業化視点の教育指導を学内で同時に行い、工学を基盤とし工学シーズの事業展開まで見据え、当該産業の中核や新規産業創出を牽引できる高度な実践力の修得を図る。	
	研究企画ゼミナール	これまでに習得したバイオテクノロジーに関する知見と技術を基に、博士課程後期課程における研究計画を自ら立案し、その内容についての発表およびディスカッションを通じて、研究のデザイン力を養う。	
	先端バイオテクノロジー演習Ⅰ	応用生物学分野における最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、演習を行う事により実践力を養う。	
	先端バイオテクノロジー演習Ⅱ	応用生物学分野における最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、演習を行う事により実践力を養う。	
	先端バイオテクノロジー演習Ⅲ	応用生物学分野における最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、演習を行う事により実践力を養う。	
	先端バイオテクノロジー演習Ⅳ	応用生物学分野における最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、演習を行う事により実践力を養う。	
	先端バイオテクノロジー演習Ⅴ	応用生物学分野における最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、演習を行う事により実践力を養う。	
	先端バイオテクノロジー演習Ⅵ	応用生物学分野における最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、演習を行う事により実践力を養う。	
	先端バイオテクノロジーゼミナールⅤ	応用生物学分野における最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、独力で研究を行う能力を養う。	
	先端バイオテクノロジーゼミナールⅥ	応用生物学分野における最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、独力で研究を行う能力を養う。	
	先端バイオテクノロジーゼミナールⅦ	応用生物学分野における最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、独力で研究を行う能力を養う。	
	先端バイオテクノロジーゼミナールⅧ	応用生物学分野における最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、独力で研究を行う能力を養う。	
	先端バイオテクノロジーゼミナールⅨ	応用生物学分野における最新の研究情報ならびに関連分野の動向について討議し、先端的知識を得るとともに、この分野における問題点を抽出し、独力で研究を行う能力を養う。	

専門 教育 科目	先端バイオテクノロジー セミナーX	応用生物工学分野における最新の研究情報ならびに 関連分野の動向について討議し、先端的知識を得ると ともに、この分野における問題点を抽出し、独力で研究 を行う能力を養う。	
----------------	----------------------	---	--

国立大学法人大阪大学 設置認可等に関わる組織の移行表

2019年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	2020年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
大阪大学				大阪大学				
文学部				文学部				
人文学科	165	-	660	人文学科	165	-	660	
人間科学部		3年次		人間科学部		3年次		
人間科学科	137	10	568	人間科学科	137	10	568	
外国語学部		3年次		外国語学部		3年次		
外国語学科	580	10	2,340	外国語学科	580	10	2,340	
法学部		3年次		法学部		3年次		
法学科	170	10	700	法学科	170	10	700	
国際公共政策学科	80	-	320	国際公共政策学科	80	-	320	
経済学部		3年次		経済学部		3年次		
経済・経営学科	220	10	900	経済・経営学科	220	10	900	
理学部				理学部				
数学科	47	-	188	数学科	47	-	188	
物理学科	76	-	304	物理学科	76	-	304	
化学科	77	-	308	化学科	77	-	308	
生物科学科	55	-	220	生物科学科	55	-	220	
医学部		2年次		医学部		2年次		
医学科（6年制）	100	10	650	医学科（6年制）	100	10	650	
保健学科	160	20	680	保健学科	160	20	680	
歯学部				歯学部				
歯学科	53	-	318	歯学科	53	-	318	
薬学部				薬学部				
薬学科（6年制）	80	-	480	薬学科（6年制）	80	-	480	
工学部				工学部				
応用自然科学科	217	-	868	応用自然科学科	217	-	868	
応用理工学科	248	-	992	応用理工学科	248	-	992	
電子情報工学科	162	-	648	電子情報工学科	162	-	648	
環境・エネルギー工学科	75	-	300	環境・エネルギー工学科	75	-	300	
地球総合工学科	118	-	472	地球総合工学科	118	-	472	
基礎工学部				基礎工学部				
電子物理科学科	99	-	396	電子物理科学科	99	-	396	
化学応用科学科	84	-	336	化学応用科学科	84	-	336	
システム科学科	169	-	676	システム科学科	169	-	676	
情報科学科	83	-	332	情報科学科	83	-	332	
計	3255	2年次 10 3年次 60	13656	計	3255	2年次 10 3年次 60	13656	
大阪大学大学院				大阪大学大学院				
文学研究科				文学研究科				
文化形態論専攻 (M)	38	-	76	文化形態論専攻 (M)	38	-	76	
文化形態論専攻 (D)	20	-	60	文化形態論専攻 (D)	20	-	60	
文化表現論専攻 (M)	37	-	74	文化表現論専攻 (M)	37	-	74	
文化表現論専攻 (D)	21	-	63	文化表現論専攻 (D)	21	-	63	
文化動態論専攻 (M)	19	-	38	文化動態論専攻 (M)	19	-	38	
人間科学研究科				人間科学研究科				
人間科学専攻 (M)	89	-	178	人間科学専攻 (M)	89	-	178	
人間科学専攻 (D)	42	-	126	人間科学専攻 (D)	42	-	126	
法学研究科				法学研究科				
法学・政治学専攻 (M)	35	-	70	法学・政治学専攻 (M)	35	-	70	
法学・政治学専攻 (D)	12	-	36	法学・政治学専攻 (D)	12	-	36	
経済学研究科				経済学研究科				
経済学専攻 (M)	50	-	100	経済学専攻 (M)	50	-	100	
経済学専攻 (D)	20	-	60	経済学専攻 (D)	20	-	60	
経営学系専攻 (M)	33	-	66	経営学系専攻 (M)	33	-	66	
経営学系専攻 (D)	5	-	15	経営学系専攻 (D)	5	-	15	
理学研究科				理学研究科				
数学専攻 (M)	32	-	64	数学専攻 (M)	32	-	64	
数学専攻 (D)	16	-	48	数学専攻 (D)	16	-	48	
物理学専攻 (M)	68	-	136	物理学専攻 (M)	68	-	136	
物理学専攻 (D)	33	-	99	物理学専攻 (D)	33	-	99	
化学専攻 (M)	60	-	120	化学専攻 (M)	60	-	120	
化学専攻 (D)	30	-	90	化学専攻 (D)	30	-	90	
生物科学専攻 (M)	54	-	108	生物科学専攻 (M)	54	-	108	
生物科学専攻 (D)	23	-	69	生物科学専攻 (D)	23	-	69	
高分子科学専攻 (M)	24	-	48	高分子科学専攻 (M)	24	-	48	
高分子科学専攻 (D)	11	-	33	高分子科学専攻 (D)	11	-	33	
宇宙地球科学専攻 (M)	28	-	56	宇宙地球科学専攻 (M)	28	-	56	
宇宙地球科学専攻 (D)	13	-	39	宇宙地球科学専攻 (D)	13	-	39	
医学系研究科				医学系研究科				
医学専攻（4年制D）	172	-	688	医学専攻（4年制D）	172	-	688	
医科学専攻 (M)	20	-	40	医科学専攻 (M)	20	-	40	
保健学専攻 (M)	81	-	162	保健学専攻 (M)	81	-	162	
保健学専攻 (D)	23	-	69	保健学専攻 (D)	23	-	69	
歯学研究科				歯学研究科				
口腔科学専攻（4年制D）	40	-	160	口腔科学専攻（4年制D）	40	-	160	
薬学研究科				薬学研究科				
創成薬学専攻 (M)	75	-	150	創成薬学専攻 (M)	75	-	150	
創成薬学専攻 (D)	20	-	60	創成薬学専攻 (D)	20	-	60	
医療薬学専攻（4年制D）	10	-	40	医療薬学専攻（4年制D）	10	-	40	
工学研究科				工学研究科				
生命先端工学専攻 (M)	85	-	170	生命先端工学専攻 (M)	0	-	0	2020年4月学生募集停止
生命先端工学専攻 (D)	18	-	54	生命先端工学専攻 (D)	0	-	0	
応用化学専攻 (M)	77	-	154	応用化学専攻 (M)	0	-	0	
応用化学専攻 (D)	22	-	66	応用化学専攻 (D)	0	-	0	
精密科学・応用物理学専攻 (M)	60	-	120	精密科学・応用物理学専攻 (M)	0	-	0	
精密科学・応用物理学専攻 (D)	16	-	48	精密科学・応用物理学専攻 (D)	0	-	0	
知能・機能創成工学専攻 (M)	32	-	64	知能・機能創成工学専攻 (M)	0	-	0	
知能・機能創成工学専攻 (D)	6	-	18	知能・機能創成工学専攻 (D)	0	-	0	
機械工学専攻 (M)	80	-	160	機械工学専攻 (M)	0	-	0	
機械工学専攻 (D)	21	-	63	機械工学専攻 (D)	0	-	0	
マテリアル生産科学専攻 (M)	106	-	212	マテリアル生産科学専攻 (M)	0	-	0	
マテリアル生産科学専攻 (D)	28	-	84	マテリアル生産科学専攻 (D)	0	-	0	
生物工学専攻 (M)				生物工学専攻 (M)	63	-	126	
生物工学専攻 (D)				生物工学専攻 (D)	12	-	36	
応用化学専攻 (M)				応用化学専攻 (M)	97	-	194	
応用化学専攻 (D)				応用化学専攻 (D)	26	-	78	

電気電子情報工学専攻 (M)	143	-	286
電気電子情報工学専攻 (D)	31	-	93
環境・エネルギー工学専攻 (M)	76	-	152
環境・エネルギー工学専攻 (D)	15	-	45
地球総合工学専攻 (M)	98	-	196
地球総合工学専攻 (D)	23	-	69
ビジネスエンジニアリング専攻 (M)	33	-	66
ビジネスエンジニアリング専攻 (D)	4	-	12
基礎工学研究科			
物質創成専攻 (M)	113	-	226
物質創成専攻 (D)	31	-	93
機能創成専攻 (M)	59	-	118
機能創成専攻 (D)	15	-	45
システム創成専攻 (M)	95	-	190
システム創成専攻 (D)	24	-	72
言語文化研究科			
言語文化専攻 (M)	32	-	64
言語文化専攻 (D)	15	-	45
言語社会専攻 (M)	25	-	50
言語社会専攻 (D)	8	-	24
日本語・日本文化専攻 (M)	10	-	20
日本語・日本文化専攻 (D)	5	-	15
国際公共政策研究科			
国際公共政策専攻 (M)	19	-	38
国際公共政策専攻 (D)	11	-	33
比較公共政策専攻 (M)	16	-	32
比較公共政策専攻 (D)	10	-	30
情報科学研究科			
情報基礎数学専攻 (M)	12	-	24
情報基礎数学専攻 (D)	5	-	15
情報数学専攻 (M)	14	-	28
情報数学専攻 (D)	5	-	15
コンピュータ工学専攻 (M)	20	-	40
コンピュータ工学専攻 (D)	6	-	18
情報システム工学専攻 (M)	20	-	40
情報システム工学専攻 (D)	7	-	21
情報ネットワーク工学専攻 (M)	20	-	40
情報ネットワーク工学専攻 (D)	7	-	21
マルチメディア工学専攻 (M)	20	-	40
マルチメディア工学専攻 (D)	7	-	21
ハイ情報工学専攻 (M)	17	-	34
ハイ情報工学専攻 (D)	6	-	18
生命機能研究科		3年次	
生命機能専攻 (5年一貫D)	55	若干名	275
高等司法研究科			
法務専攻 (P)	80	-	240
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学専攻 (D)	15	-	45
計	3032	若干名	7403

物理学系専攻 (M)	72	-	144	研究科の専攻の設置 (事前伺い)	
物理学系専攻 (D)	19	-	57		
機械工学専攻 (M)	96	-	192		
機械工学専攻 (D)	23	-	69		
マテリアル生産科学専攻 (M)	118	-	236		
マテリアル生産科学専攻 (D)	31	-	93		
電気電子情報通信工学専攻 (M)	141	-	282		名称変更・定員変更 (△2)
電気電子情報通信工学専攻 (D)	30	-	90		名称変更・定員変更 (△1)
環境エネルギー工学専攻 (M)	82	-	164		名称変更・定員変更 (6)
環境エネルギー工学専攻 (D)	16	-	48		名称変更・定員変更 (1)
地球総合工学専攻 (M)	104	-	208	定員変更 (6)	
地球総合工学専攻 (D)	23	-	69		
ビジネスエンジニアリング専攻 (M)	38	-	76	定員変更 (5)	
ビジネスエンジニアリング専攻 (D)	4	-	12		
基礎工学研究科					
物質創成専攻 (M)	113	-	226		
物質創成専攻 (D)	31	-	93		
機能創成専攻 (M)	59	-	118		
機能創成専攻 (D)	15	-	45		
システム創成専攻 (M)	95	-	190		
システム創成専攻 (D)	24	-	72		
言語文化研究科					
言語文化専攻 (M)	32	-	64		
言語文化専攻 (D)	15	-	45		
言語社会専攻 (M)	25	-	50		
言語社会専攻 (D)	8	-	24		
日本語・日本文化専攻 (M)	10	-	20		
日本語・日本文化専攻 (D)	5	-	15		
国際公共政策研究科					
国際公共政策専攻 (M)	19	-	38		
国際公共政策専攻 (D)	11	-	33		
比較公共政策専攻 (M)	16	-	32		
比較公共政策専攻 (D)	10	-	30		
情報科学研究科					
情報基礎数学専攻 (M)	12	-	24		
情報基礎数学専攻 (D)	5	-	15		
情報数学専攻 (M)	14	-	28		
情報数学専攻 (D)	5	-	15		
コンピュータ工学専攻 (M)	20	-	40		
コンピュータ工学専攻 (D)	6	-	18		
情報システム工学専攻 (M)	20	-	40		
情報システム工学専攻 (D)	7	-	21		
情報ネットワーク工学専攻 (M)	20	-	40		
情報ネットワーク工学専攻 (D)	7	-	21		
マルチメディア工学専攻 (M)	20	-	40		
マルチメディア工学専攻 (D)	7	-	21		
ハイ情報工学専攻 (M)	17	-	34		
ハイ情報工学専攻 (D)	6	-	18		
生命機能研究科		3年次			
生命機能専攻 (5年一貫D)	55	若干名	275		
高等司法研究科					
法務専攻 (P)	80	-	240		
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学専攻 (D)	15	-	45		
計	3053	若干名	7445		